

地域再生計画（地方創生污水処理施設整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	山梨県	事業実施主体	大月市	地域再生計画名	大月市「アユ踊る清流育む自然豊かなまちづくり」
計画期間	平成27年度～令和3年度	評価責任者	大月市地域再生計画評価委員会 会長 坂本 和彦		

	指標	基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
		基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	汚水処理人口普及率	41.1%	H25	45.2%	H29	44.6%	52.1%	R3	48.5%	△	3 0	汚水処理人口普及率は毎年上昇するなど着実な整備効果が認められる。しかし、流域流入点工事の工期が遅れたことに伴い下水道供用開始区域を拡大することができなかったことや単独浄化槽の解消を多く見込める区域を整備することができなかったため最終目標を達成することができなかった。 計画期間における平均来訪者数は年あたり22,600人となり基準値を超える結果となった。近年はコロナ禍の影響を受け、最終目標を達成することができなかったものの、関係団体による施設整備や公共水域の改善によりリピーターが増え、アユ釣りによる地域の賑わいを図ることができた。 平成25年度の基準値より大幅に減少している。これは平成29年度における岩殿山の崩落等の影響や近年のコロナ禍における外出自粛の影響と推察される。
	指標2	アユ釣り来訪者の増加	22,000人	H25	24,000人	H29	22,500人	27,000人	R3	22,080人	△		
	指標3	観光人口の増加	439,000人	H25	491,000人	H29	406,000人	527,000人	R3	193,000人	×		
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1												
	指標2												
③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
		計画	中間年度(H29)	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	公共下水道整備事業（整備延長）	850m	125m	1,027m	大月地区、鳥沢地区は平成29年度で概ね整備が完了し、石動地区においても令和3年度で本計画において予定していた整備を完了した。計画的及び効率的に整備を進めたことにより計画していた整備量以上に管路を延長することができた。しかし、石動地区の下水道供用開始区域の拡大が図れなかったため、計画していた新規処理人口については、達成することができなかった。								
	個人設置型浄化槽整備事業（整備基数）	305基	98基	183基	計画初期である平成27年度、平成28年度においては、予定していた整備量の8割程度の設置があったが、平成29年度以降は設置基数が減少し、計画していた整備量を大きく下回る結果となった。しかし、新規処理人口においては計画値が760人のところ実績は712人となり、9割程度の成果を得られた。								
その他の事業	地域住民による河川・農業用水路等の清掃	各地域において毎年河川・農業用水路等の清掃及び美化活動を行う。			毎年4月下旬に地域住民により、農業用水路等の清掃及び美化活動を行った。また、地域住民や大月短期大学学生、各種団体などにより様々な地域で美化活動が行われ、公共水域の保全に努めた。								
	アユ釣り大会の実施	本市の観光資源であるアユ釣りの大会を開催し、開始時はもとより、年間を通じて本市を訪れる人の増加を図る。			本市の観光資源であるアユ釣りは年間を通して多くの釣り客を集め、交流人口の拡大を図ることができたが、アユ釣りの大会として事業は実現できなかった。								
計画外で独自に実施した事業	JR大月駅周辺整備事業	駅周辺の整備を推進する。			大月市立地適正化計画に基づき、大月駅とその周辺を一体的に整備することにより、観光・交流の拠点としての機能向上が図られ、今後も観光客の増加に結び付くことが期待される。								
	岩殿山かがり火祭り	市最大の祭りで、市内外から多くの人々が訪れる事業。			阿波踊りをはじめとし、さまざまなイベントで賑わい、交流人口に繋がったが、R2年度以降コロナ禍により中止及び規模縮小となった。								
④評価方法	大月市地域再生計画評価委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
⑤事後評価の公表方法	大月市地域整備課のホームページに掲載												
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、汚水処理施設整備推進交付金を活用した公共下水道整備と個人設置型浄化槽整備を一体的に実施し、汚水処理施設のさらなる普及に努めた。公共下水道整備事業については、計画していた整備量を上回る成果を上げることができたが、流域幹線流入点の工期が遅れたことや単独浄化槽の解消を多く見込める区域を整備することができなかったことが要因となり汚水処理人口普及率の最終目標値を達成することができなかった。また、個人設置型浄化槽整備事業においては、設置基数について計画していた整備量を大幅に下回る実績となったが、新規の処理人口においては計画値に近い実績となったことから、汚水処理人口普及率の向上においては概ね成果を得られた。その他の目標においては、近年のコロナ禍により交流人口の拡大を図ることが困難となり、目標を達成することができなかった。												
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては汚水処理人口普及率の目標値には大きく届かなかったが着実な整備効果が認められるため、今後においても整備効率の高い区域を中心に公共下水道の整備を行うことや合併浄化槽の更なる普及促進に取り組むことで汚水処理人口普及率の向上に努めていきたい。また、アユ釣り来訪者の増加や観光人口の増加に向け公共水質の改善に努め、本市の貴重な財産である自然、生態系の保全と自然浄化機能を回復させることにより一層の交流人口拡大に向け取り組んでいきたい。												